

# <参考> レベル1 津波対策の施設整備による減災効果 22 河津町

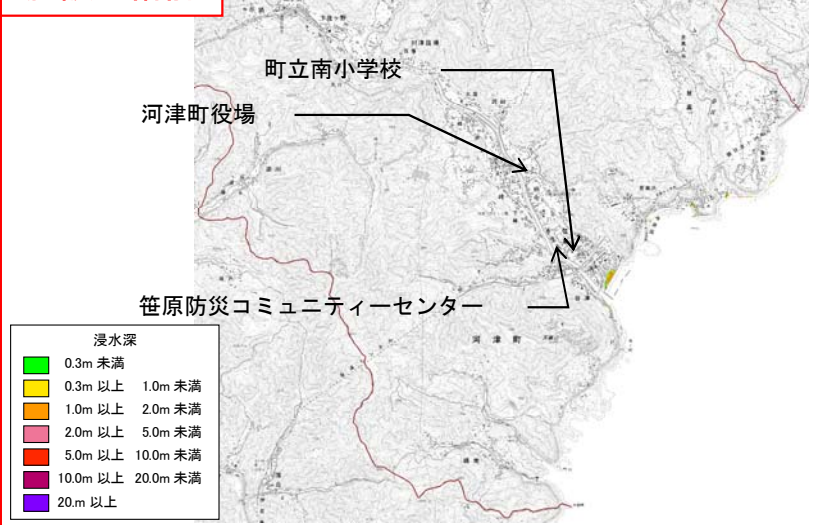
## レベル1 津波来襲時

### 津波浸水想定と比較

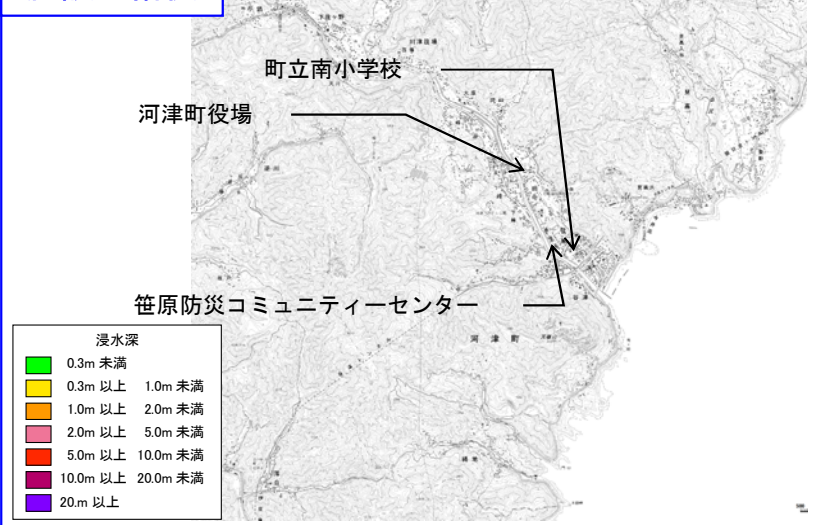
【浸水面積が最大となるL1津波】  
静岡県独自モデル 5地震総合

### 減災効果

#### 施設整備前



#### 施設整備後



#### ①河津町全域における減災効果

単位: km<sup>2</sup>

浸水深	整備前	整備後	増減
1m未満	0.0	0.0	0.0
1m以上 2m未満	0.1	0.0	-0.1
2m以上 5m未満	0.0	0.0	0.0
5m以上 10m未満	0.0	0.0	0.0
10m以上	0.0	0.0	0.0
合計	0.1	0.0	-0.1

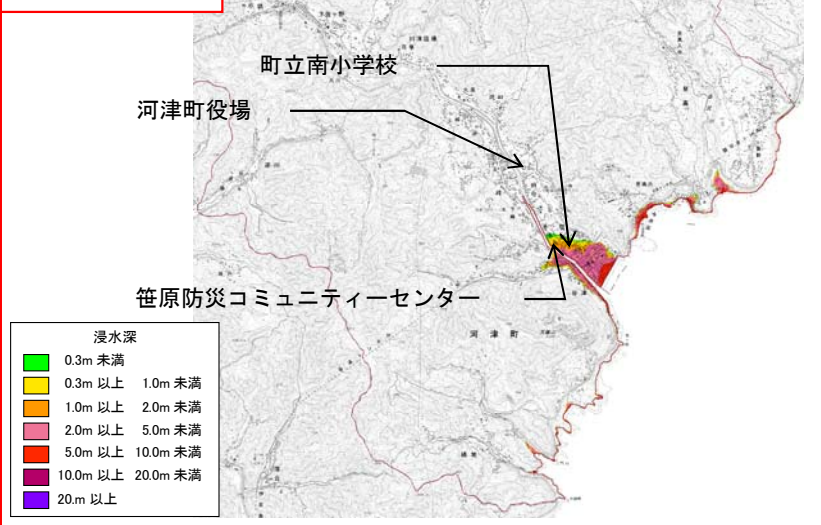
## レベル2 津波来襲時

### 津波浸水想定と比較

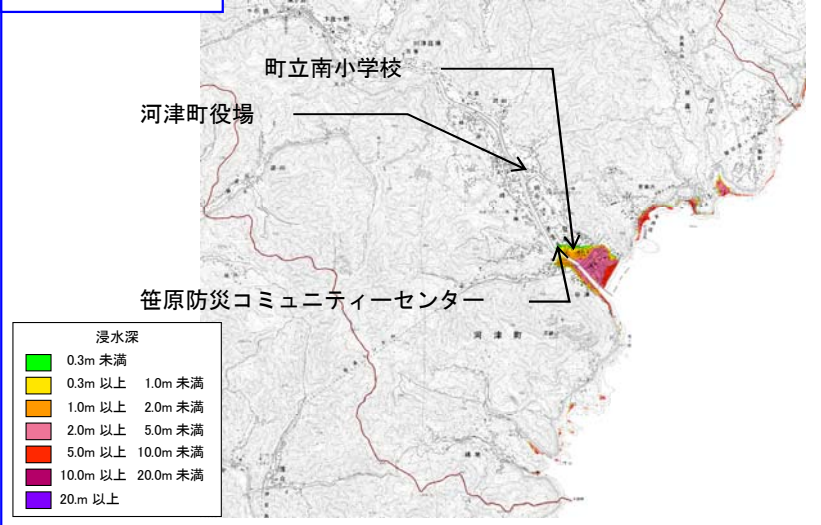
【浸水面積が最大となるL2津波】  
内閣府 (2012) 南海トラフ巨大地震モデル (ケース⑧)

### 減災効果

#### 施設整備前



#### 施設整備後



#### ①河津町全域における減災効果

単位: km<sup>2</sup>

浸水深	整備前	整備後	増減
1m未満	0.1	0.1	0.0
1m以上 2m未満	0.1	0.1	0.0
2m以上 5m未満	0.3	0.2	-0.1
5m以上 10m未満	0.2	0.1	-0.1
10m以上	0.0	0.0	0.0
合計	0.7	0.5	-0.2

#### ②町立南小学校における減災効果

最大浸水深の増減			津波到達時間の遅れ		
整備前	整備後	増減	整備前	整備後	遅れ
1.0m	0.3m	-0.7m	21分	23分	2分

※本資料は、レベル1津波対策施設の高さが津波来襲時においても維持され、その効果が最大限発揮された場合の評価を静岡県が独自に行ったものであり、今後、国土交通省等から新たな知見が示された場合には、必要に応じて見直しを行います。(本資料の活用には留意事項をご確認ください。)

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000 (地図画像) を複製したものである。(承認番号 平28情複、第1438号)

# <参考> レベル1 津波対策の施設整備による減災効果 23 東伊豆町

## レベル1 津波来襲時

### 津波浸水想定と比較

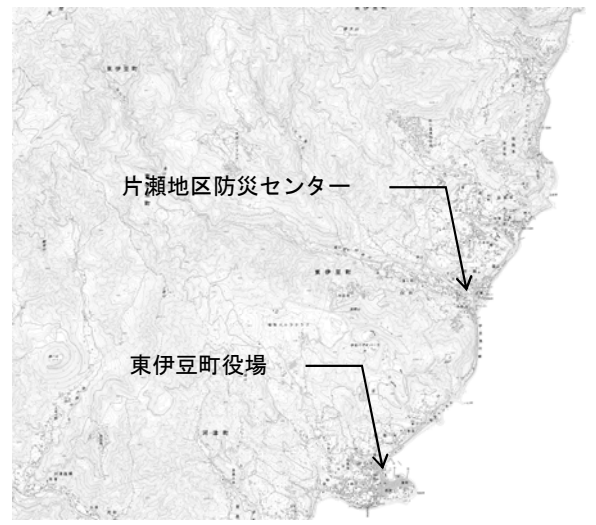
【浸水面積が最大となるL1津波】  
静岡県独自モデル 5地震総合

### 減災効果

#### 施設整備前



#### 施設整備後



#### ①東伊豆町全域における減災効果

単位: km<sup>2</sup>

浸水深	整備前	整備後	増減
1m未満	0.1	0.0	-0.1
1m以上 2m未満	0.1	0.0	-0.1
2m以上 5m未満	0.0	0.0	0.0
5m以上 10m未満	0.0	0.0	0.0
10m以上	0.0	0.0	0.0
合計	0.2	0.0	-0.2

## レベル2 津波来襲時

### 津波浸水想定と比較

【浸水面積が最大となるL2津波】  
内閣府(2012)南海トラフ巨大地震モデル(ケース⑧)

### 減災効果

#### 施設整備前



#### 施設整備後



#### ①東伊豆町全域における減災効果

単位: km<sup>2</sup>

浸水深	整備前	整備後	増減
1m未満	0.1	0.1	0.0
1m以上 2m未満	0.1	0.1	0.0
2m以上 5m未満	0.3	0.2	-0.1
5m以上 10m未満	0.2	0.0	-0.2
10m以上	0.0	0.0	0.0
合計	0.7	0.4	-0.3

#### ②東伊豆町役場における減災効果

最大浸水深の増減			津波到達時間の遅れ		
整備前	整備後	増減	整備前	整備後	遅れ
6.1m	1.9m	-4.2m	10分	11分	1分

※本資料は、レベル1津波対策施設の高さが津波来襲時においても維持され、その効果が最大限発揮された場合の評価を静岡県が独自に行ったものであり、今後、国土交通省等から新たな知見が示された場合には、必要に応じて見直しを行います。(本資料の活用には留意事項をご確認ください。)

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)を複製したものである。(承認番号 平28情複、第1438号)

# <参考> レベル1 津波対策の施設整備による減災効果 24 伊東市

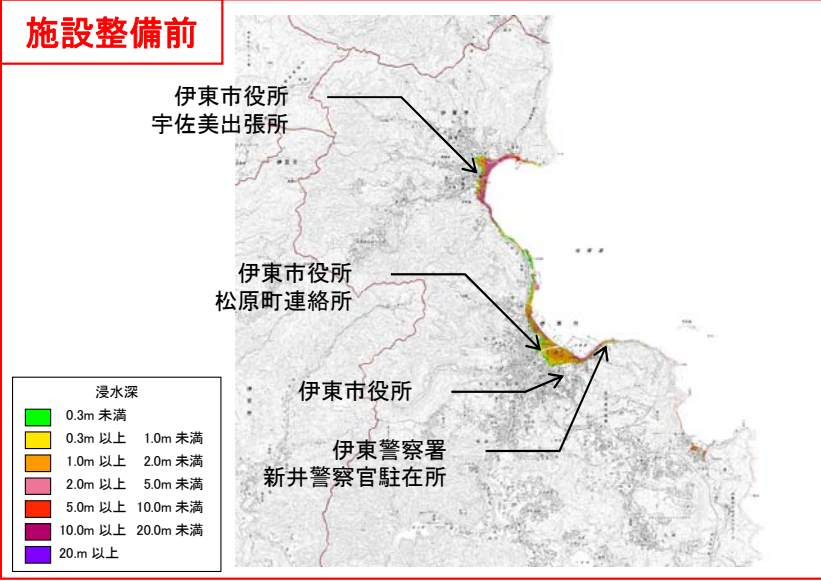
## レベル1 津波来襲時

### 津波浸水想定と比較

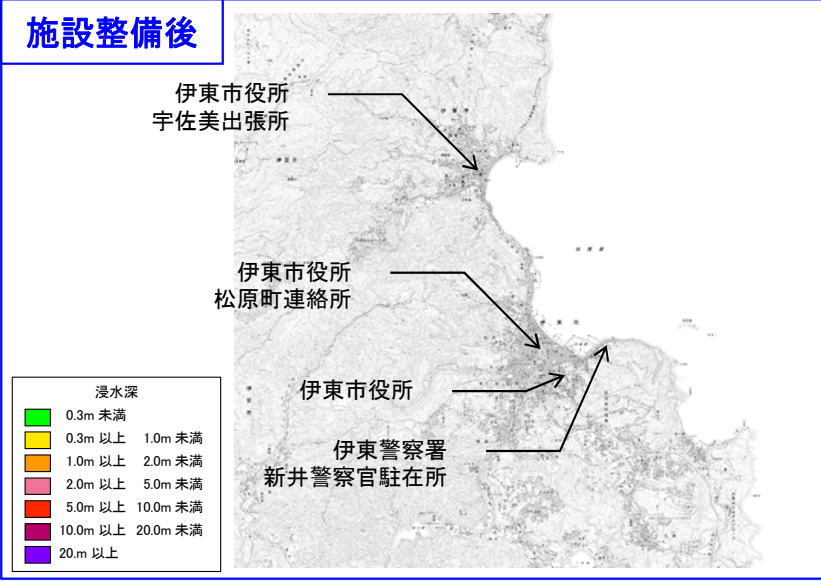
【浸水面積が最大となるL1津波】  
行谷ほか（2011）改変モデル 大正型関東地震

### 減災効果

#### 施設整備前



#### 施設整備後



#### ①伊東市全域における減災効果

単位：km<sup>2</sup>

浸水深	整備前	整備後	増減
1m未満	0.4	0.0	-0.4
1m以上 2m未満	0.3	0.0	-0.3
2m以上 5m未満	0.4	0.0	-0.4
5m以上 10m未満	0.0	0.0	0.0
10m以上	0.0	0.0	0.0
合計	1.1	0.0	-1.1

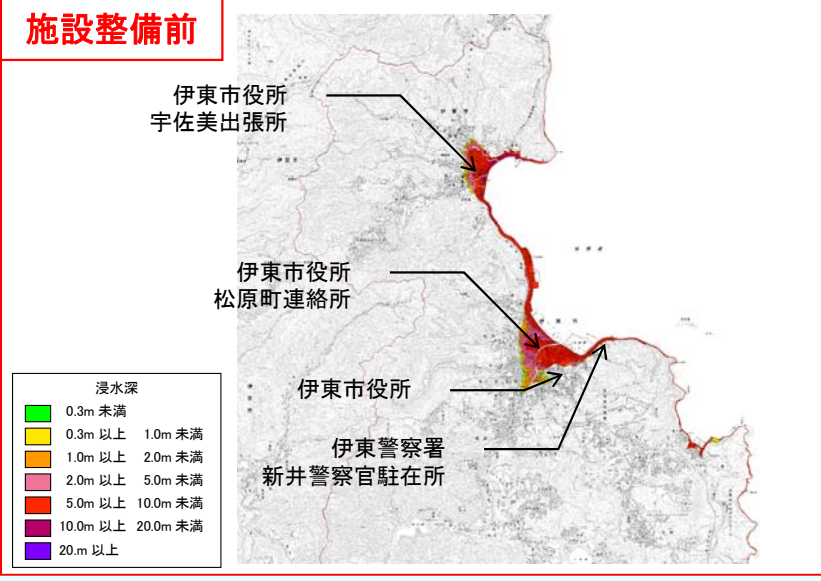
## レベル2 津波来襲時

### 津波浸水想定と比較

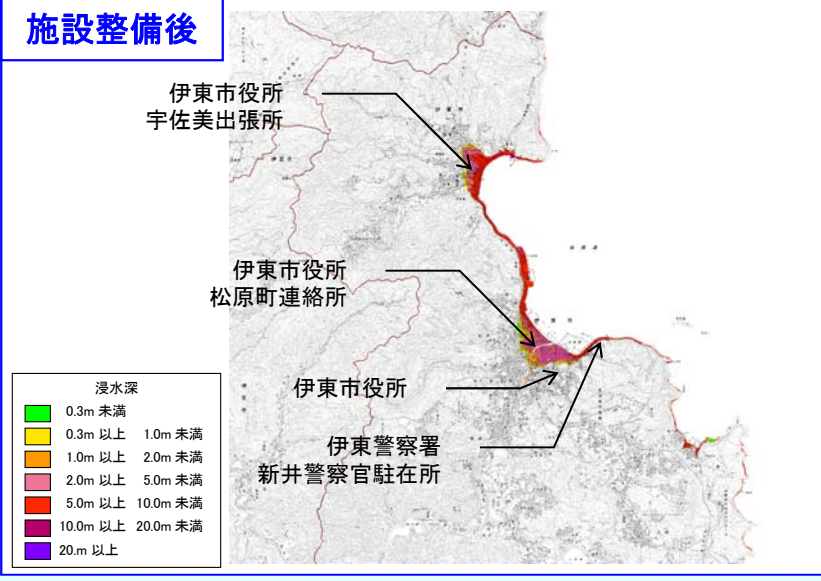
【浸水面積が最大となるL2津波】  
内閣府（2013）相模トラフ沿いの最大クラスの地震（ケース①）

### 減災効果

#### 施設整備前



#### 施設整備後



#### ①伊東市全域における減災効果

単位：km<sup>2</sup>

浸水深	整備前	整備後	増減
1m未満	0.3	0.2	-0.1
1m以上 2m未満	0.3	0.2	-0.1
2m以上 5m未満	0.7	0.8	0.1
5m以上 10m未満	1.7	0.7	-1.0
10m以上	0.2	0.0	-0.2
合計	3.2	2.1	-1.1

#### ②伊東市役所宇佐美出張所における減災効果

最大浸水深の増減			津波到達時間の遅れ		
整備前	整備後	増減	整備前	整備後	遅れ
6.5m	3.5m	-3.0m	9分	9分	0分

※本資料は、レベル1津波対策施設の高さが津波来襲時においても維持され、その効果が最大限発揮された場合の評価を静岡県が独自に行ったものであり、今後、国土交通省等から新たな知見が示された場合には、必要に応じて見直しを行います。（本資料の活用には留意事項をご確認ください。）

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平28情複、第1438号）

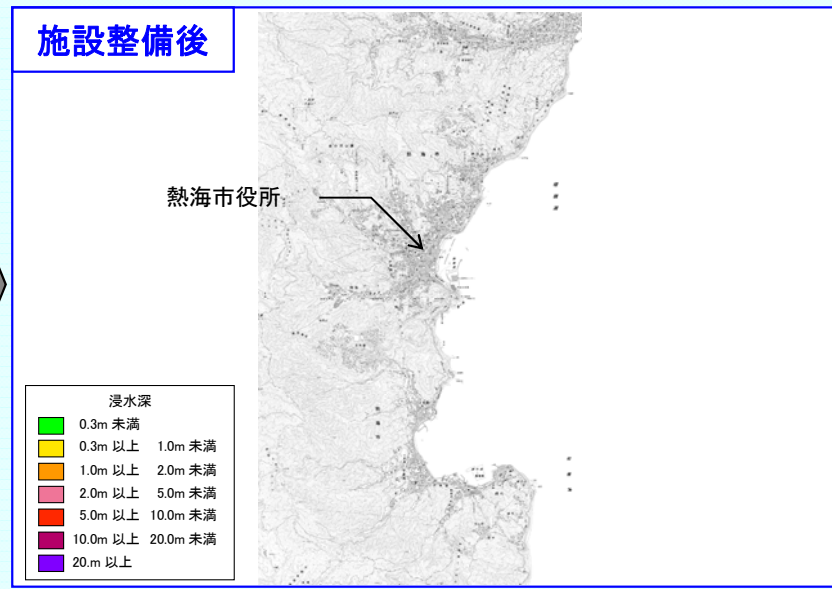
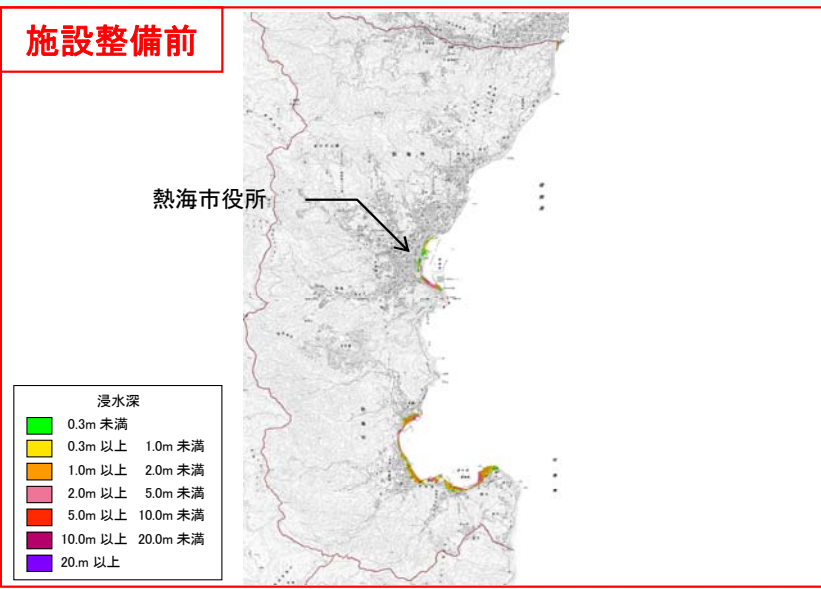
# <参考> レベル1 津波対策の施設整備による減災効果 25 熱海市

## レベル1 津波来襲時

### 津波浸水想定と比較

【浸水面積が最大となるL1津波】  
行谷ほか（2011）改変モデル 大正型関東地震

### 減災効果



①熱海市全域における減災効果

単位：km<sup>2</sup>

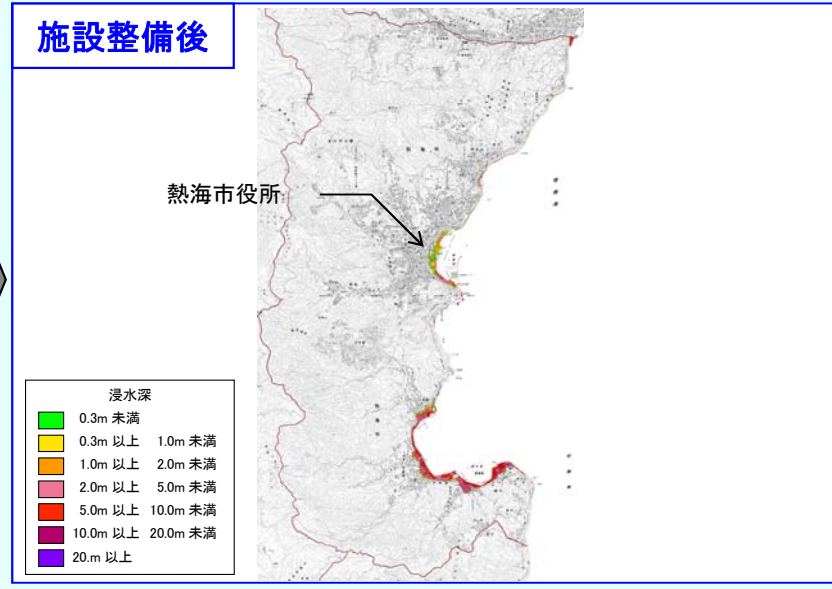
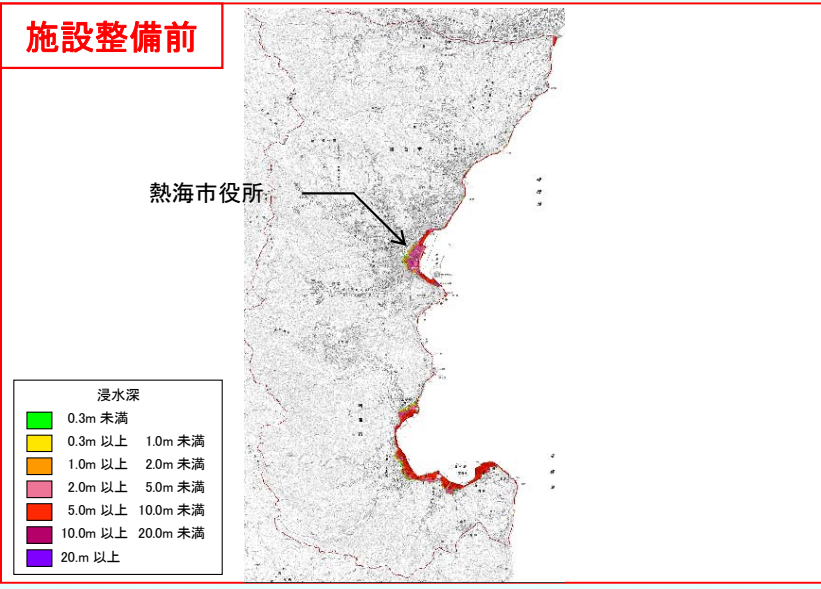
浸水深	整備前	整備後	増減
1m未満	0.3	0.0	-0.3
1m以上 2m未満	0.3	0.0	-0.3
2m以上 5m未満	0.4	0.0	-0.4
5m以上 10m未満	0.0	0.0	0.0
10m以上	0.0	0.0	0.0
合計	1.0	0.0	-1.0

## レベル2 津波来襲時

### 津波浸水想定と比較

【浸水面積が最大となるL2津波】  
内閣府（2013）相模トラフ沿いの最大クラスの地震（ケース①）

### 減災効果



①熱海市全域における減災効果

単位：km<sup>2</sup>

浸水深	整備前	整備後	増減
1m未満	0.1	0.2	0.1
1m以上 2m未満	0.1	0.1	0.0
2m以上 5m未満	0.5	0.4	-0.1
5m以上 10m未満	0.9	0.3	-0.6
10m以上	0.1	0.0	-0.1
合計	1.7	1.0	-0.7

②熱海市役所における減災効果

最大浸水深の増減			津波到達時間の遅れ		
整備前	整備後	増減	整備前	整備後	遅れ
浸水無	浸水無	解消	浸水無	浸水無	解消

※本資料は、レベル1津波対策施設の高さが津波来襲時においても維持され、その効果が最大限発揮された場合の評価を静岡県が独自に行ったものであり、今後、国土交通省等から新たな知見が示された場合には、必要に応じて見直しを行います。（本資料の活用には留意事項をご確認ください。）

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平28情複、第1438号）

# <参考> レベル1 津波対策の施設整備による減災効果 25 熱海市（初島）

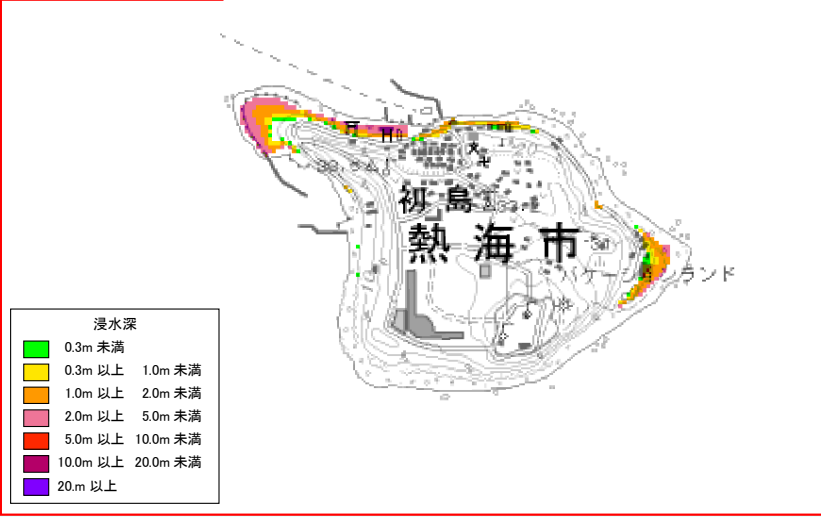
## レベル1 津波来襲時

### 津波浸水想定と比較

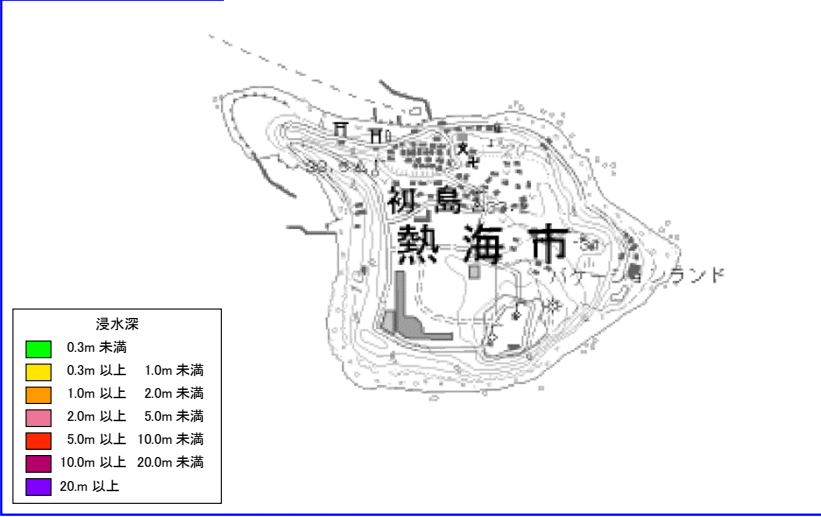
【浸水面積が最大となるL1津波】  
行谷ほか（2011）改変モデル 大正型関東地震

### 減災効果

#### 施設整備前



#### 施設整備後



#### ①熱海市全域における減災効果

単位：km<sup>2</sup>

浸水深	整備前	整備後	増減
1m未満	0.3	0.0	-0.3
1m以上 2m未満	0.3	0.0	-0.3
2m以上 5m未満	0.4	0.0	-0.4
5m以上 10m未満	0.0	0.0	0.0
10m以上	0.0	0.0	0.0
合計	1.0	0.0	-1.0

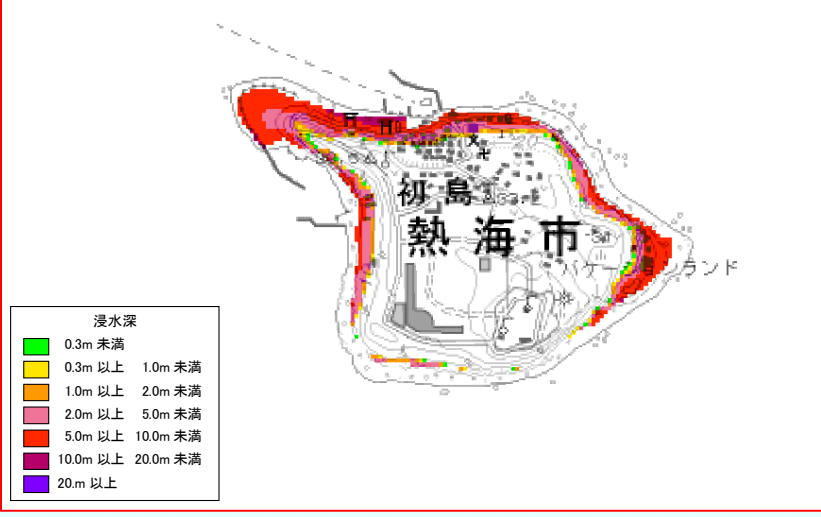
## レベル2 津波来襲時

### 津波浸水想定と比較

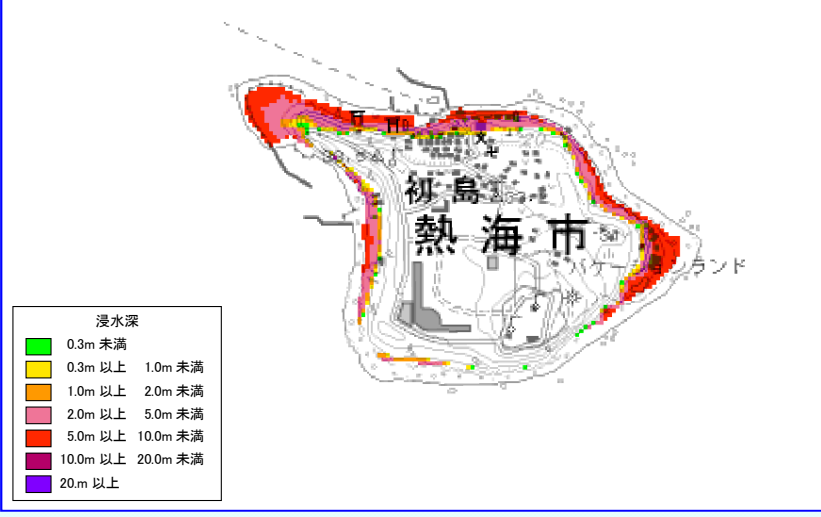
【浸水面積が最大となるL2津波】  
内閣府（2013）相模トラフ沿いの最大クラスの地震（ケース①）

### 減災効果

#### 施設整備前



#### 施設整備後



#### ①熱海市全域における減災効果

単位：km<sup>2</sup>

浸水深	整備前	整備後	増減
1m未満	0.1	0.2	0.1
1m以上 2m未満	0.1	0.1	0.0
2m以上 5m未満	0.5	0.4	-0.1
5m以上 10m未満	0.9	0.3	-0.6
10m以上	0.1	0.0	-0.1
合計	1.7	1.0	-0.7

※本資料は、レベル1津波対策施設の高さが津波来襲時においても維持され、その効果が最大限発揮された場合の評価を静岡県が独自に行ったものであり、今後、国土交通省等から新たな知見が示された場合には、必要に応じて見直しを行います。（本資料の活用には留意事項をご確認ください。）

この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000（地図画像）を複製したものである。（承認番号 平28情複、第1438号）